



指導事項を遵守するよう指導しています。副所長会議で周知しています。(7月23日沖縄総合事務局)

# 運動に確信を持ち 明日を切り開こう

## 回 答 キヤラバンの成果を 要求闘争に活かそう

「消費税の転嫁について阻害行為が発覚した場合は、個別事案を聴取し、関東地整へ報告のうえ、必要に応じ調査・指導・措置請求等を実施」  
「応急対策業務や復旧作業にダンプは欠かせませんので、ご協力をお願いします。現在、災害時の協定については、社団法人群馬県建設業会と協定を締結しているが災害時の対応として、今後の検討課題としたい」  
(群馬県)

「消費税の転嫁問題について、告発を受け、悪質業者が発覚したら入札参加停止処分を実施する」  
(埼玉県)  
「消費税の転嫁問題について、平成27年2月に公契約条例が提案される。条例にするかどうか。8月にセミナーを開催する予定です」  
(岩手県)

「労務費について、平成26年度は2回引き上げた。19%単価引き上げて改善した。今後とも建設業界に対し、福利費等の支払いを指導する」  
(沖縄総合事務局)  
「低単価が過積載の根源  
県警に組合員が問題提起」  
栃木ダンプ



全ての組合員が団結を固め、来年までに300名の組織を実現しよう (8月3日石川県金沢市内)

「自家用ダンプの見解については全職員理解しています」  
(大阪府)  
「低単価が過積載の根源  
県警に組合員が問題提起」  
栃木ダンプ  
「北陸ダンプ支部は8月3日(日)、第21回定期大会を石川県金沢市内で開き、組合員約50名が参加しました。大会では、辻猛委員長が「北陸ダンプのこれまでと未来」と題して特別講演をおこないました。一九八五年(昭和60年)に支部が結成された経緯を振り返るなど、現在は労災加入促進、使用促進闘争などの要求実現に奮闘していることや東日本大震災ボランティア活動にも力を入れた社会的にも認知されていることを強調し、支部の影響力を広げるためにも「来年までに三〇〇名の支部を作ろう」と参加者に訴えました。二〇一四年度運動方針、財

### 定期大会 要求闘争で前進しよう 三〇〇名の組織を作ろう

北陸ダンプ

政方針、役員案が採択され、団結を固めることをお互いに確認し大会を終えました。

役員体制

執行委員長 辻 猛  
副委員長 山田 信二  
書記 立野 正俊  
書記次長 山田 満  
同 宮森 秀和

### 低単価労働条件を改善し 魅力ある業界に変えよう

埼玉北部

埼玉北部ダンプ支部は、8月3日(日)に埼玉県鴻巣市内において第35回支部定期大会を行いました。定期大会には各分会代表の議員35人、執行委員会20人、来賓5人出席のもと行われました。田口

役員体制

委員長 野呂 武留  
副委員長 田口 正  
書記 他2名  
書記次長 坂本 秋一  
同 深谷 久志



低単価をなくし、労働条件を改善し、魅力ある業界をつくろう (8月3日埼玉県鴻巣市内)